



2020年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年9月14日

上場会社名 くら寿司株式会社
 コード番号 2695 URL <https://www.kurasushi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年9月18日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 田中 邦彦
 (氏名) 津田 京一
 TEL 072-493-6189

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第3四半期の連結業績(2019年11月1日～2020年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第3四半期	96,366	4.2	1,457		945		1,614	
2019年10月期第3四半期	100,570	2.6	3,855	25.9	4,364	25.0	2,620	30.3

(注) 包括利益 2020年10月期第3四半期 1,888百万円 (%) 2019年10月期第3四半期 2,519百万円 (32.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第3四半期	81.72	
2019年10月期第3四半期	132.73	132.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第3四半期	75,717	44,664	55.3
2019年10月期	68,216	47,211	64.5

(参考) 自己資本 2020年10月期第3四半期 41,876百万円 2019年10月期 43,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期		0.00		40.00	40.00
2020年10月期		0.00			
2020年10月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年10月期の連結業績予想(2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な中で、連結業績予想の算定を合理的に行うことは困難であることから、今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で、改めて公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年10月期3Q	20,699,800 株	2019年10月期	20,699,800 株
期末自己株式数	2020年10月期3Q	926,810 株	2019年10月期	956,866 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年10月期3Q	19,759,726 株	2019年10月期3Q	19,743,004 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年11月1日から2020年7月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い、経済活動と個人消費が停滞し、景気が急速に悪化したことから非常に厳しい状況となりました。

外食産業におきましては、緊急事態宣言解除後は営業時間の正常化など回復に向けた動きが見られるものの、依然として感染拡大の懸念があり先行き不透明な状況が続いています。

このような環境のなか、当社グループは「with コロナ」時代に、新しい生活様式や環境に配慮しながら、安心・安全そしてワクワクする夢のあるレストランを創造するプロジェクト「スマートくらプロジェクト」をスタートいたしました。案内から会計までスムーズに行う①「セルフでくら」、スマホで注文など快適・便利な②「スマホでくら」、感染症予防の取り組み③「安心のくら」、お持ち帰りや出前、通販の④「おうちでくら」の4つの取り組みを進めました。IoTなどの先端技術を用い、お客様がより快適に安全に楽しんでいただけるオンリーワンのレストランを目指してまいります。

商品戦略におきましては、5月にお持ち帰り商品のラインナップに人気のうどんやラーメンなどの麺類を加え、6月には「金目鯛三種盛り」など「旬の極みシリーズ」に合わせて人気アニメ「鬼滅の刃」とのコラボキャンペーンを展開いたしました。7月にはまぐろの品質をAI技術で目利きする「極み熟成AIまぐろ」を販売するなど、高品質な商品提案により顧客満足度の向上に努めました。これらの施策の結果、新型コロナウイルスの感染拡大による影響により、2020年4月には51.9%まで落ち込んだ既存店売上高前年比は、6月以降90%以上まで回復し、外食産業全体の中でも堅調な推移となりました。

米国子会社Kura Sushi USA, Inc. (KSU) におきましては、2020年3月よりカリフォルニア州などに外出禁止令(Stay-at-Home Order)が発令され、2020年3月18日からKSU25店舗全店の一時閉鎖をいたしました。2020年5月より7店舗を再開し、2020年8月末現在25店舗全店を再開しておりますが、店内飲食や店内座席数が制限されており引き続き厳しい状況となっております。

台湾子会社社亞洲藏壽司股份有限公司(KSA)におきましては、台湾政府による新型コロナウイルス対策などが功を奏し、2020年5月以降は経済活動が正常化しつつあります。KSAにおきましては計画通り新規出店し積極的に投資を行いました。

店舗開発につきましては、国内24店舗、米国2店舗、台湾5店舗の計31店舗を出店いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、全て直営で516店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗、米国25店舗、台湾25店舗を含む)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は963億66百万円、経常損失9億45百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は16億14百万円となりました。

なお、当社グループは飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、757億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して75億1百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が58億7百万円減少した一方で、売掛金が2億88百万円、原材料及び貯蔵品が3億43百万円、有形固定資産が119億86百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して100億48百万円増加し、310億53百万円となりました。これは、主に未払金が8億2百万円、流動負債のその他が22億34百万円、リース債務が77億96百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が24億4百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して25億47百万円減少し、446億64百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染症拡大の収束とその後の回復には不確定要因が多いことから、2019年12月12日に公表しました連結業績予想を一旦取り下げ、未定とすることといたしました。今後、連結業績予想の算出が合理的に可能となった時点で、改めて公表いたします。

詳細につきましては、2020年6月5日に公表しております「2020年10月期第2四半期決算発表の日程並びに通り連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,965	15,157
売掛金	1,883	2,172
原材料及び貯蔵品	1,342	1,685
その他	1,373	2,103
流動資産合計	25,565	21,119
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	19,561	21,454
使用権資産(純額)	—	8,178
その他(純額)	11,819	13,733
有形固定資産合計	31,380	43,367
無形固定資産	688	660
投資その他の資産		
長期貸付金	4,302	4,396
差入保証金	4,848	5,262
その他	1,430	912
投資その他の資産合計	10,582	10,571
固定資産合計	42,651	54,598
資産合計	68,216	75,717
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,123	5,274
短期借入金	36	—
未払金	5,212	6,015
未払法人税等	1,398	591
その他	3,538	5,772
流動負債合計	15,309	17,653
固定負債		
リース債務	3,057	10,853
資産除去債務	1,853	2,047
その他	785	499
固定負債合計	5,695	13,400
負債合計	21,005	31,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005	2,005
資本剰余金	4,146	4,221
利益剰余金	40,255	37,851
自己株式	△2,354	△2,280
株主資本合計	44,053	41,797
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△67	78
その他の包括利益累計額合計	△67	78
新株予約権	167	160
非支配株主持分	3,058	2,627
純資産合計	47,211	44,664
負債純資産合計	68,216	75,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
売上高	100,570	96,366
売上原価	45,869	43,641
売上総利益	54,701	52,725
販売費及び一般管理費	50,845	54,183
営業利益又は営業損失(△)	3,855	△1,457
営業外収益		
受取利息	44	91
受取手数料	300	290
為替差益	2	42
物販収入	139	72
雑収入	162	144
営業外収益合計	649	640
営業外費用		
支払利息	52	78
物販原価	74	34
雑損失	13	15
営業外費用合計	140	128
経常利益又は経常損失(△)	4,364	△945
特別利益		
新株予約権戻入益	—	80
特別利益合計	—	80
特別損失		
固定資産除却損	29	54
減損損失	161	377
特別損失合計	191	431
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,173	△1,296
法人税、住民税及び事業税	1,412	186
法人税等調整額	118	601
法人税等合計	1,531	788
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,642	△2,085
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	21	△470
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,620	△1,614

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,642	△2,085
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△123	196
その他の包括利益合計	△123	196
四半期包括利益	2,519	△1,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,511	△1,468
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△419

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「リース」(IFRS第16号)及び「リース」(米国会計基準ASU2016-02))

第1四半期連結会計期間の期首より、在外連結子会社において「リース」(IFRS第16号)及び「リース」(米国会計基準ASU2016-02)を適用しております。

これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、主に有形固定資産の「使用権資産」が61億81百万円、流動負債の「その他」が7億22百万円、固定負債の「リース債務」が57億36百万円それぞれ増加し、固定負債の「その他」が3億48百万円減少しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。